

高校生用 I ③ 個人ワーク ～Syllabus～

1. 授業の概要

「税のしくみから社会の在り方を考えよう」をテーマに、わが国の税制や財政の基礎を学んだ後、「日本の財政と税金」「公平な税負担」といった個別テーマでのグループディス

ス
カッションやワークシートによって理解を深める。

2. 到達目標

○税制の基本や税の役割とともに、わが国の財政事情を理解させる。

○グループディスカッションやワークシートを通じて、この授業が社会の一員として
当事者意識を持つきっかけとする。

○自分たち納税者＝主権者だということを理解し、主権者として税制や財政に関心を持
ち続け、選挙等の社会参画をすることが、わが国の将来を左右する大切なことだと
理解させる。

3. 構想

段階	学習範囲	学習内容
導入	税制の基本と税の役割 わが国の財政事情	<ul style="list-style-type: none"> • 税の種類や特徴、使いみちや決め方について説明する。また税が様々なものに使われていることを説明する。 • 歳入歳出の収支バランス、税収の推移や公債発行額の推移、さらには少子高齢化に伴う社会保障費の増大と負担者の減少について説明する。
展開	あるべき税制と財政 公平な負担とは	<ul style="list-style-type: none"> • グループディスカッションを通じ、歳入が足りない中で税制はどうあるべきか議論し、税制や財政への正しい理解を深める。 • グループディスカッションを通じ、立場の違う納税者間でどのようにすれば公平と納得する税負担が可能なのか議論する。
まとめ	主権者意識を持つこと の大切さ	<ul style="list-style-type: none"> • 税を通して社会の在り方を考えることで、自分たち納税者が主権者として税制や財政に関心を持ち、選挙等で自分の意見を社会に届けることが、わが国にとって大切なことだと理解する。

4. 展開（タイムスケジュール）③個人ワーク

項目	内容	時間
<挨拶・自己紹介> ・税理士って何ですか？	・自己紹介、税理士の職業紹介	3分
<税金と財政の基礎知識> ・はじめに ・どうして税金が必要なんだろう？ ・税金は約50種類あります！ ・所得税（直接税）の特徴をみてみよう ・消費税（間接税）の特徴をみてみよう ・「課税の公平性」とは？ ・税金の使いみちはどのように決めている？ ・税金の使いみち（歳出）を見てみよう ・どのような税金による収入（税収）があるか見てみよう ・歳入（国の1年間の収入）と歳出（1年間の支出） ・国の財政を見てみよう ・税収の推移を見てみよう ・これからの社会と税を考えてみよう ・大きな政府？小さな政府？ ・公債残高の推移を見てみよう ・まとめ（日本の現状）	・授業の内容と説明 ・身の回りの税金の存在と必要性 ・税金の種類と区分 ・所得税の主な特徴 ・消費税の主な特徴 ・応能負担の原則 ・納税の義務と租税法律主義 ・国の歳出の中身 ・国の歳入の中身と公債金と税収の割合 ・歳入と歳出の比較 ・税収、歳出、公債発行額の推移 ・税目ごとの税収の推移 ・社会保障費の増加と負担者の減少 ・公共サービスと国民負担の在り方 ・日本の財政の現状 ・日本の抱える問題	20分
<ディスカッション> ・税金（歳入）が足りない！ さあ、どうしよう??	・ワークシートの記入とグループディスカッション	20分
<まとめ> ・グループディスカッションの発表 ・講師のまとめ	・各グループの代表者による発表 ・政治への参加と税金の負担の重要性	7分